

妙法華寺便り

令和7年7月号



和尚さんのよろず話

今年は例年になく早い梅雨明けとなりました。大変暑い日が続いていますので、水分補給、暑さ対策などをして、お体ご自愛ください。

いのちの合掌

この文字を皆さんも見かけたことがあると思います。当山では本堂の御宝前右手奥の壁にこの言葉の幕が掛かっています。これは、令和13年に日蓮聖人の750遠忌を迎えるにあたり、日蓮宗での布教方針で通年のテーマです。「お互いの尊厳を尊重し、互いの命に合掌しましょう。」ということです。

さて、世間では7月5日に大災害が起こるという預言で来日の観光客の人数が減るなどの影響も大きかったようですが、何事もなく良かったです。ただし、トカラ列島の地震や、新燃岳・桜島・さらにはインドネシア・シウォト・ラキラキ山の噴火など、災害はいつ我が身に起こるか分かりません。対策を充分にしておきたいものです。

去る7月9日に岡山市の妙林寺で日蓮宗宗務所主催の夏期講習がありました。石川県2部宗務所長、本住寺御住職「大句哲正」上人が能登半島地震の状況とその後の防災について講演されました。大句上人のお寺は震源地のすぐ側だった為、お寺は全壊・本堂は潰れてしまったそうです。場所も能登半島の先端であり、支援も4日目になってようやく物資の搬入が始まったとの事。やはり3日分の備蓄は大切であるとのお話でした。以下、「防災を考える」と題して、3つの提案をされましたので、紹介させていただきます。

1. 防災を考える～自助～ ……自分（家族）の身は自分（家族）で守る

- ①飲料水や食料を、最低でも3日分用意しておく → すぐに支援の手は届かない
- ②避難に備えて非常持ち出し袋を準備しておく
 - 目につくところに非常袋を備えておく
- ③家の中の災害対策をしておく → 家具などを固定しておく
- ④避難所や避難経路を前もって確認しておく → ハザードマップなどで確認する

2. 防災を考える～共助～ ……近所や地域の人々と助け合う

- ①自主防災組織 → 自分たちのまちは自分たちで守る
- ②災害時に主体的に動く
 - 公助（行政、消防、察、自衛隊、病院など）の働きに限界

③防災訓練への参加 → 避難方法、避難者の安全確認、受付

④地域にどのような人が住んでいるか把握しておく

→お年寄り、一人暮らし、体が不自由な人

3. 防災を考える～公助～ ……市役所、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援

①防災対策 → 災害予防（予測、備え、準備）、防災訓練、道路・河川改修など

②災害時の体制 → 安否確認、避難物資授受関係機関との連携、避難場所など

以上参考にしてみてください。

話はかわりますが、8月は大黒参りで金運アップの月です。

8月15日（金）と27日（水）が良い日です。当山も摩利支天月堂内に大黒様がおられますので、どうぞお参り下さい。

◇ 行事報告 ◇

6月18日（水）摩利支天月例祭

堂内の読誦会に引き続き摩利支天堂にて法楽を行い、家内安全・身体健全等の祈念をさせていただきました。

6月23日（月）岡山県連合護持会総会

岡山県連合護持会総会が蓮昌寺様で開かれ、妙法華寺からは難波隆司世話人が出席されました。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

8月18日（月）、9月18日（木）午前10時より執行いたします。

施餓鬼会

9月20日（土）午後1時より執り行います。

施餓鬼会のご案内を同封させていただきますので、棚経の時から8月20日までにご返信頂ければと思います。詳しくは案内文をご確認下さい。当日の駐車場につきましては来月「妙法華寺便り8月号」でお知らせします。

また、施餓鬼会は毎年「9月20日」の固定日ですので、宜しくお願い致します。

◇ 近況 ◇



近年地震や自然災害が増えています。お寺では発生日に当たる日の朝勤にて、災害による物故者に対し供養の読経をさせていただいております。少しでも安穏な日々となりますよう願うばかりです。

合掌

